

いっでんわ

熊本県立
芦北支援学校

令和4年7月20日
発行



第177号

紙面内容

- ◎ 現場実習
- ◎ 一学期の生活（各学部）
- ◎ 本校運動会・芦北高体育大会
- ◎ 防災・救急蘇生法訓練



校長 富永 佐世子

「オンラインワンの
キラキラ笑顔」

コロナウイルスの感染拡大が収まってきかと思いきや、またも感染拡大しそうな状況になってきました。また、コロナ以外にも目や異常気象、ウクライナ危機など、重苦しいニュースが次々と報じられ、不安や憤りに襲われています。それでも、学校の子どもたちや先生方の笑顔にふれると、その瞬間にとっても楽しく幸せな気持ちになります。

そういえば、校長室に元衆議院議長の坂田道太氏の「和顔愛語」の書が掲げられています。辞書で調べると、「和顔愛語」とは「大無量寿経」という經典の中にある言葉で、「和やかな顔と思いやりの言葉で人に接すること」「辛いことや嫌なことがあった場、愚痴をこぼしたくなる時、そんなときこそ、まず自分から笑顔と優しい言葉で周りの人に接する姿勢」が「和顔愛語」というのです。しかし、

心に余裕のない私がいざ実践するとすると簡単ではないようですが、「和顔愛語」には「先意承問」という言葉が続き、「相手の気持ちを察して相手のために何ができるか自分自身に問いただすこと」だそうです。「相手に笑顔になってほしいのならば、まずは、自分が相手に笑顔を見せること」、昔から多くの人が体感していたからこそ言葉として伝わっているのではないのでしょうか。世の中がICTの発達など、様々なことが急激に変化しています。そんな中だからこそ「和顔愛語」を実践していきたいと思えます。

そして、変わらず大切にしていきたいものが「キラキラ笑顔」です。この『いとでんわ』には、本校の子供たちの素敵な笑顔や頑張りを載せていますのでご一読いただければ幸いです。また、芦北支援学校のホームページにも、「芦北支援学校の今」を随時更新していますので、そちらも是非ご覧ください。

和顔愛語



佐敷分教室 前期現場実習



六月六日（月）から十七日（金）の十日間、二、三年生が現場実習、一年生が校内実習を行いました。三年生にとつては、進路先を決めていくため「つかむ」ことがテーマになる実習になりました。卒業後の自分の生活についてイメージしながら取り組んだ十日間でした。三年生にとつて後期実習は、卒業後の進路選択・自己決定していくための実習となります。今回の実習で得られたこと、改善点を振り返り、今後にかしてほしいと思います。

二年生は、自分の適性を見つけよう、広げよう」というテーマの実習でした。「働くこと」の楽しさ、大変さをより具体的に経験できたと思います。後期現場実習でも、今の生活における課題の改善を進めてほしいと思います。

一年生は、校内実習（受注作業で鉄板のシールはぎ、磨き、傷等の確認）で目標一六〇枚を仕上げ、達成できました。生活習慣、時間管理への意識、職場のルール・マナーを学ぶことができました。

また、先輩たちが働く事業所での見学も実施し、働くための基礎力などを考えることのできる経験となりました。今回の実習で学んだことをしっかりとしっかり発揮してほしいと思います。（中村）



小学部

小学部は児童二名が新たに加わり、七名でのスタートとなりました。運動会を始め、様々な学習をする中で五年生は最上級学年として、一、三年生は昨年度より成長した姿で、一年生は学校生活に慣れながら、自分でできることにしっかり取り組んでいます。児童の頑張っている姿を「運動会」や「あしえんフレンドパーク」で保護者の方々に見ていただくことができ、本当に嬉しく思いました。

(東)



中学部

六月に美術の学習の一環で「つなぎ美術館」への校外学習に取り組みました。美術館では、静粛な雰囲気の中で、大きな絵画を鑑賞することができました。また、モノレールに乗って展望台まで登り、山の頂上から海や新幹線を眺めたり、木々に囲まれてきれいな空気を吸ったりすることができました。とても有意義な校外学習となりました。

(園山)



高等部

高等部は三年生一名、二年生二名が「伝え合ってお互いに学び合おう」を合い言葉に各活動を頑張っています。一学期の生活単元学習では、モルックなどのスポーツ活動や花や野菜を育てる園芸活動などに取り組みました。

特にモルックでは

各生徒が得意な動きを生かして競技し、連日熱戦が繰り広げられました。(大瀬)



訪問教育

訪問教育には、小学部一名、中学部一名の児童生徒が入学しました。入学式は、療育センターと本校をズームで結びましたが、保護者、病棟スタッフの方々、職員に見守られながら、温かい雰囲気の中で行うことができました。これからのいろいろなことに挑戦し、興味・関心を広げ、それぞれのいいところを伸ばしていってほしいです。(福田)



佐敷分教室

四月八日、佐敷分教室では入学式を行いました。新たに七名の新生が入学しました。初めての環境で緊張した様子でしたが、最後まで素晴らしい姿勢で式に臨むことができました。その後の対面式や歓迎遠足の中で、笑顔で活動する様子が見られ、だんだんと上級生との絆が深まっています。(境野)

(境野)



交流及び共同学習「あいりす」

(小学部)
小学部は六月二十二日に佐敷小学校三年生とオンラインで間接交流をしました。それぞれの場所でも自己紹介カードを作成しました。できたカードは後日交換する予定です。二学期にも交流を行うので、佐敷小学校の友達の顔や名前を覚えたいと思います。

(中学部)

七月一日に本校中学部職員二名が佐敷中学校に向いて道徳の学習を実施しました。その中で、中学部生徒からのビデオレターを披露すると佐敷中学生から温かい拍手をもらうことができました。二学期には、オンライン交流に取り組み予定です。

(高等部)

高等部では、芦北高校や水俣高校と作品等の交流を予定しています。一学期は暑中見舞いを兼ねて高等部の活動を広用紙にまとめました。今後、各高校と作品を交換する予定です。

(佐敷分教室主事)

昨年度に続き、今年度も芦北高校体育大会に参加しました。二学期以降は、芦高祭や長距離走大会、クリスマスパーティー作り交流を計画しています。

運動会 (本校)

今年度は生活単元学習として各部で取り組みました!

芦高体育大会

小学部 ワクワク 元気 運動会!

小学部では、紅白に分かれ「ワクワク玉入れ」と「元氣リレー」の二種目に取り組みました。「ワクワク玉入れ」では、得意な方法で玉を投げ入れたり転がしたりし、かごに入った重さで勝敗を競いました。「元氣リレー」では、それぞれの方法でボールを運び、次に繋ぎました。最終週は、月曜日の開会式から始まり、木曜日の閉会式で締めくくり、保護者の応援の中、笑顔で頑張る姿いっぱい盛り上がりを見せました。(猪木)



中学部 ウルトラベースボール

中学部では投手とホームベースをつなぐ筒でボールを投げたり、バネのついたバットを操作してボール打ったりして野球をしました。生徒は、打球がHITや2BH、3BH、HR、OUTと書かれたボードに当たると一喜一憂していました。HIT(一点)を打つと塁を周り、得点を競いました。会場装飾は生徒が行い、少しずつ雰囲気賑やかになってきました。期間中、個人戦やチーム戦を通して白熱した試合が繰り広げられ、最終試合(運動会)では生徒たちも職員も一体となって最後まで全力プレーが見られました。(大谷)



高等部 あんなでモルック! ファイティング!

五月十六日(月)から運動会単元としてモルックにチャレンジしました。モルックは、フィンランドで生まれたスポーツで、スキットルという木製のピンを倒しながら点数を競い合います。高等部では、独自のルールでボールの種類や転がす道具を自分で選び、得意な動きを生かして競技を行いました。単元期間中の総合得点で順位を決定したので、毎日熱戦が繰り広げられ、盛り上がりました。(鳳凰)



訪問教育 めざせ! 優勝! ほうもんサッカー部!

サッカー競技を行いました。児童生徒は赤団と白団に分かれ、それぞれの団長からの励ましのビデオメッセージを視聴して、対戦が始まりました。ディフェンスの位置を確認して、ボールを転がす方向を決め、シュートを行いました。ボールを転がす際は、手指でボールを押ししたり、手指や口を動かしてスィッチを操作したり、紐を力強く引っばったりして、それぞれが得意な動きで頑張る様子が見られ、白熱した対戦が続きました。(五嶋)



佐敷分教室

五月十四日、土曜日に芦北高校との合同体育大会が行われました。団長を中心に、全生徒二十二名が一致団結して、マゲームダンスや五人六脚、長縄跳び、芦高トライアスロンなど出場種目の練習に日々励みました。

今年度は、安室奈美恵さんの「ヒーロー」とブルーノ・マーズさんの「ランナウェイベイビー」の曲に合わせてダンスを踊りました。短い期間で全生徒が全力で練習に取り組んだ結果、本番では自信に満ちあふれたパフォーマンスで、元氣いっぱい楽しく踊ることができました。

他の種目ではクラス対抗リレー、団対抗リレー大縄など、声を掛け合い励まし合いながら、一生懸命な姿を保護者や観客にご披露できました。

これからも芦北高校のみなさんと協力していろいろな活動に取り組んでいきます。(江口)



あしえん防災

五月二十五日(水) 佐敷分教室、六月一日(水) 本校で風水害避難訓練を実施しました。今回の避難訓練では、備蓄品の移動も含め、実際に近い形で動きの確認をしました。「防災情報くまもと」というサイトでは、身近な地域のハザード(危険)を調べることができます。風水害から命を守るためには、正しい情報を早く収集することが大切です。そして、いつでも避難できる準備を各家庭、各自で整えておくこと安心です。(福島)



救急蘇生法研修の様子

プールの授業開始に先立ち、救急蘇生法の研修会を実施しました。今年度は、芦北消防署の署員の方においでいただき、胸骨圧迫の実技を中心に研修を行いました。確実に胸骨を圧迫するためには正しい姿勢を保つことが必要であることや万が一の場合には複数の職員で対応することが大切であることなどを改めて学ぶことができ、大変有意義な研修会とすることができました。



(工藤)

心のきずな深める月間」の取組

本校では、「あしえんの仲間」というオリジナルポスターを作成しました。校内に掲示することで、仲間と助け合い協力することの大切さを意識して、学校生活を送ることができました。また、高等部佐敷分教室では、生徒会、各学年、職員のグループに分かれて、「いじめ0」を目指した取組を話し合いました。全員レクリエーションの提案をはじめ、仲間外しをしない・呼び捨てをしない・相手の気持ちを考えて行動するなどを宣言して、自分たちで決めたことを一ヶ月間実践することができました。

児童生徒会スローガン

本校 「心なかと楽しくスマイル」
分教室 「いじめの笑顔いっぱい楽しい学校」

あしえんインフォメーション

○2学期の主な行事○

- ・ 始業式 9 / 1
- ・ 現場実習 (佐敷分教室) 9 / 26 ~ 10 / 7
- ・ にこにこふれあい発表会 (本校) 10 / 29
- ・ 収穫祭&販売会 in 芦高祭 (佐敷分教室) 11 / 12
- ・ 終業式 12 / 23

緊急時や災害時等に活用する一斉メール配信システム『あしえん安全メール』の運用にあたり、下記の2社からの協賛をいただいています。

- ゆめタウン八代 様
- 熊本日新聞社 湯前販売センター 様

学校のことを知ってください。
学校にいらしてください。
学校にご協力ください。
学校にご意見ください。
学校は地域に貢献します。

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》
TEL 0966-82-4627
FAX 0966-82-4606
MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp

地域支援便り

小学校、中学校、高等学校の先生方、一学期を振り返って、いろいろな悩みや聞いてみたいこと等を持っていらっしゃるのではないのでしょうか。特別支援学校のセンターの機能の一環として巡回相談を行っています。一緒に話し、考えることで、何かヒントが見つかるかもしれません。相談したい方は、特別支援教育コーディネーターまでご連絡ください。

子どもたちが、笑顔で元気に学校生活を送ることができるよう、お手伝いしたいと思います。

(山中)

